

2017 年度事業活動計画(案)

I. はじめに

「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」(ネット 2 1 運動)は、個別企業の労使では解決がむずかしい、地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域の N P O や市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと労金や全労済、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

2017 年度も、連合埼玉・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福協をはじめ、地域で活動する N P O とも連携・協働して、以下の事業活動を進めていきます。

1. ライフサポート・プログラム

- ・出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催
- ・未組織・生活困窮者等への支援

2. ボランティアサポート・プログラム

- ・「シニア人財バンク」の活動
- ・自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業(尾瀬、ときがわ)
- ・子育て支援ボランティア事業

3. N P O サポート・プログラム

- ・ N P O 支援事業
「 N P O 応援・物品助成プログラム」「 N P O 応援・少額(物品等)助成プログラム」
の実施

4. 「ネット 2 1 運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

5. N P O との協働に関するシンポジウム※新規

6. 特別事業としての東日本大震災に係る被災者・避難者支援活動

II. 基本事業活動計画

1. ライフサポート・プログラム

(1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

出前方式(講師の派遣)で開催する「勤労者の生活・暮らしに役立つ各種セミナー」は連合埼玉の構成組織・加盟組合や地域労福協、埼玉シニア連合、労働者福祉事業団体など各組織で開催されるようになってきました。要望等に応じてセミナープログラムの拡充なども行い、各組織・団体での更なる利用促進をはかっていきます。

- ① 連合埼玉構成組織・加盟組合・地域協議会、地域労福協、労働者福祉事業団体、各 O B 組織、埼玉シニア連合、等での利用促進。
- ② 「ライフサポートステーション・ネット 2 1」(久喜・川越・熊谷・大宮)と連携した「出前セミナー」の開催
- ③ 「暮らし応援・出前セミナー」プログラムの拡充(要望に対応できる講師の選定)

(2) 未組織、生活困窮者等への支援

未組織労働者、生活困窮者も含め、広い意味での勤労者のライフサポート（生活・暮らしサポート）の観点から、反貧困運動や多重債務・自殺防止対策・路上生活者への支援などに取り組む団体等と連携して、必要な支援を行っていきます。

具体的な支援内容については委員会で検討、確認して実施してまいります。

2. ボランティアサポート・プログラム

(1) 「シニア人財バンク」の活動

①「シニア人財バンク」は、自分の特技や趣味を活かし、ボランティア活動などを通じて地域社会に「貢献したい、参加したい」と思っている50才以上の方に登録してもらい、登録者にボランティア活動、NPO活動などを紹介・案内する制度です。現在の登録者（名簿上登録者50名）には、飛び出せシニアセミナーおよびNPOインターンシップへの参加案内を行っています。

②シニアのためのセミナーの開催や、セミナーと連携したシニア人財バンクへの登録、登録者への情報提供の方法など、検討してまいります。

③運営については、さいたまNPOセンターと連携して行います。

(2) 自然環境ボランティア促進、自然環境体験事業

①自然環境のなかでの、親子自然環境体験・ボランティア体験の実施（尾瀬）

夏休み・親子をキーワードとしつつも、夫婦等などファミリーも対象とする自然環境体験、ボランティア活動（ゴミ拾い）など企画してまいります。昨年に引き続き、尾瀬高原ホテル前泊(22日)での企画を進めます。（スタッフ含む計50名規模）

実施予定日【7月22日～23日】

②NPO法人ときがわ山里文化研究所と連携した自然体験の実施

「NPO応援・物品助成プログラム」の助成団体のひとつである「ときがわ山里文化研究所」と「ネット21運動」との連携・協働で実施する事業として、夏休み親子自然体験教室「山の学校 in ときがわ」を実施します。

また、2日間実施の内1日については震災支援特別事業と位置付け実施します。

実施予定日【8月】

(3) 子育て支援ボランティア事業

子育てをキーワードに、「みんなで子育て」をしていく地域社会づくりを目指し活動をしている「NPO法人彩の子ネットワーク」を中心とした実行委員会が主催する「こども☆夢☆未来フェスティバル」への連携と協働（フェスタボランティア）をはかります。

3. NPOサポート・プログラム

(1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援と連携を目的とする物品等助成事業

①NPO応援・物品助成プログラム（パソコン寄贈：推薦・応募方式）

②NPO応援・小額（物品等）助成プログラム

（NPO、施設などへの少額物品等の寄贈：**推薦方式**）

構成団体、地協・地域労福協、地域事務所、さいたまNPOセンター等の推薦を基本とします。

（2）パソコン寄贈団体への訪問・意見交換

2016年度寄贈10団体に対し、パソコンの活用状況や主な活動について意見交換を実施し、ネット21運動への理解促進をはかっていきます。

（3）NPO活動への理解と具体的な参加（社会参加）をサポートする事業

①飛び出せシニアセミナー

シニア層に対し新たな気づきを与え、地域活動や市民活動、ボランティア活動への後押しをする「飛び出せシニアセミナー」を、さいたまNPOセンターとの協働事業として企画・実施していきます。

実施予定日【9月16日、23日】

4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

（1）「ワンコイン（500円）運動」展開による、「ネット21運動」とボランティア・カードの普及拡大

（2017年度版ボランティア・カードもA・B2種類のカードを展開しました。）

①各組織・団体での年間を通しての勉強会・説明会の促進

②NPOや外部団体・一般市民への「ボランティア・カード」の積極的な展開

③ネット21事務所での相談者・訪問者などへの「ボランティア・カード」のPR

（2）「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充。

県内を中心に、飲食店やレジャー、福祉サービスなどを提供する企業・団体との契約拡大に努めていきます。

（3）「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化

①見やすい、わかりやすいHP、タイムリーな情報アップ

（契約企業のサービス情報、活動紹介・パソコン贈呈の公募、活動報告、等）

②「埼玉労福協だより」、「マンスリー」等による「ネット21運動」の紹介

③各構成組織・団体等での「出前講座」の利用促進（ネット21運動のPR）

5. NPOとの協働に関するシンポジウム※新規

2007年に「労働組合とNPOの協働の可能性を考えるシンポジウム」を連合埼玉、埼玉労福協、さいたまNPOセンター等が中心になり開催し、ネット21運動が知られるきっかけになった。前回のシンポジウムから10年が経過しており、各団体の役員が交代していく中で、あらためて、連合埼玉や福祉事業団体とNPOが協働するためのシンポジウムを企画・実施していきます。

実施予定日【12月以降】

6. 特別事業：東日本大震災に関する被災者・避難者支援活動

2013年度より「ネット21運動」の特別事業として、家族の絆づくり、子育て支援などをコンセプトに、山の学校 in ときがわ、ママランチ会等を実施しており、本年度も特別事業として実施していきます。

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| (1) 夏休み親子自然体験教室「山の学校 in ときがわ」 | 実施予定日【8月5日】 |
| (2) 子育て支援：ママランチ会 | 実施予定日【6月21日】 |
| (3) バーベキューファミリー交流会 in サイボクハム | 実施予定日【10月21日】 |

以 上